



広報

秋 田

平成 3 年 (1991 年)

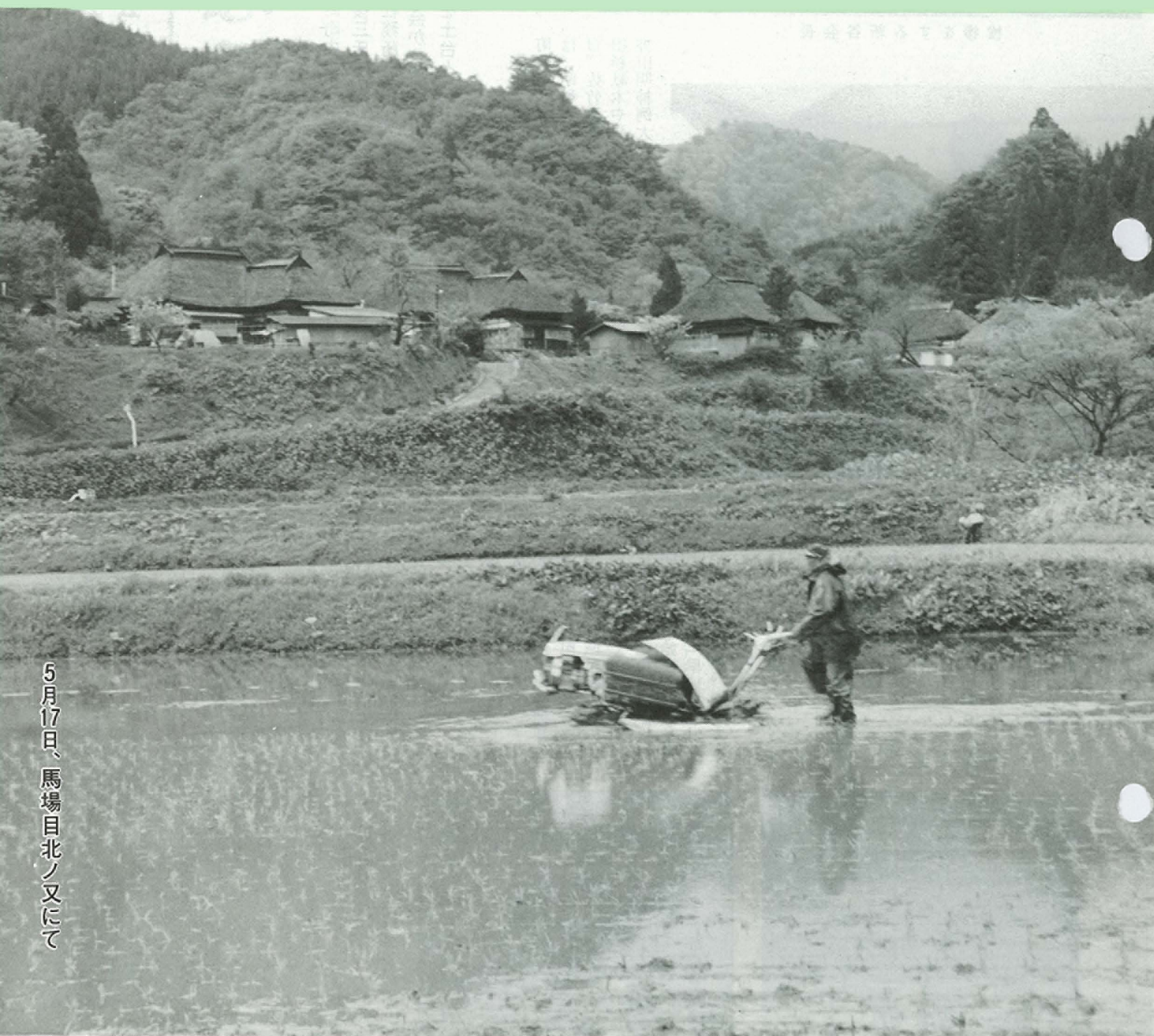
6 月 1 日

No. 661

(毎月 1 日・15 日発行)

発行／秋田県五城目町

ぞじょうめ



5月17日、馬場目北ノ又にて

主 な 内 容

- 姉妹提携5周年記念式典 2
- 市 神 祭 3
- 環境整備最前線 6
- 五城目人物山脈 11

山あいの村に

春がこだまする!

本町町内会長会 姉妹提携5周年記念式典 内神田旭町町会

更なる交流を誓い合う

五月十二日、本町町内会長会（会長・新谷秋蔵氏）と千代田区内神田旭町町会（会長・丸木俊三氏）の姉妹提携五周年を祝う記念式典が、内神田旭町の佐竹稲荷神社事務所前特設会場で大に行われました。

本町からは、会長会から新谷会長、鳥井前副会長ら六名と佐藤町長らが出席。これまでの絆を土台として、今後も更に交流を深めてゆくことを固く誓い合いました。

本町町内会長会と内神田旭町町会が姉妹提携を結んだのは、昭和六十二年七月二十五日。佐竹稲荷神社境内への秋田杉献木や記念碑建立、また、神田明神例大祭への参加など

がきっかけとなりました。提携翌年の九月二十三日には、旭町から二十五人が参加して「姉妹提携記念の碑」を富津内北口の国道285号線沿いに建立。近くに建設された橋を

「神田橋」と命名しました。この民間交流が実を結んで、平成元年十月二十六日には、町と千代田区とが姉妹提携の調印を行い、行政間の交流もスタートしました。

また、昨年は神田明神将門太鼓の指導を受け、五城目天翔太鼓も誕生しました。

式典当日は佐竹稲荷神社の例大祭で、旭町町会の皆さんは半天姿で五城目町からの一行を出迎えてくれました。正午に、旭町町会の広瀬副会長の司会で式が始まり、最初に丸木会長が、「早いもので五周年を迎えました。記念事業として何かやらなければと考えましたが、お稲荷さんのお祭りでお迎えするのが一番と考え、今日の運びとなりました。五周年を契機に、さらに交流を深めてゆきましょう。」と挨拶。続いて新谷会長が「ここ旭町町会と民間レベルでの姉妹提携をしてから五年になりました。今でも、調印式や記念碑建立の様子が彷彿とよみがえってきます。これからいかなる時代の変遷があろうとも、深い愛情のもとに交流

を続けましょう」と力強く挨拶をしました。その後、旭町の相談役・小芝氏から五年間を振り返り経過報告がありました。

また、来賓として出席した木村千代田区長、佐藤町長らが祝辞を述べました。この中で佐藤町長は、「佐竹稲荷神社を縁に結ばれた旭町町会と五城目町町内会長会の絆を行政としても大事にしたい。旭町は五城目町の誇りです。」とお祝いの言葉を述べました。最

後に両会長が記念品の交換をし式典を終えました。式典に引き続き行われた祝賀会は、民謡や秋田万歳が両町会から飛び出すなど和やかな雰囲気が進められ、最後に鳥井前副会長が万歳三唱をして盛会のうちに終了しました。また、前日十一日夜の宵宮では大神輿が町内を練り歩き、新谷会長らも若衆に交じり、悪戦苦闘しながら神輿をかついでいました。



挨拶をする新谷会長



記念品（目録）の交換をする丸木会長（左）と新谷会長



宵宮で神輿をかつぐ本町の出席者



佐竹稲荷神社前で記念撮影



昨年の市神祭

市神祭

開催 15日(土) 16日(日)

大綱引き復活 イベントは盛りだくさん!!

五城目町・市神祭が、六月十五日、十六日の両日開かれます。

この祭は、生活市として今日まで約五百年続いてきた「五城目朝市」を町内外に紹介し、誘客をはかるとともに、商工業の振興のため、商工会青年部・婦人部が中心となつて、毎年実施しているものです。

主なイベントは次のとおり。

五城目大綱引き

▽日時 15日、午後7時～16日、午前11時～

会場 下町通り

▽内容 昔、三大祭りとして行われていた行事を復活させました。一本50メートルの綱二本を、太さ60センチの杉丸太で合体させ引き合います。

「食」のコーナー

▽日時 15日 午前10時30分～16日

会場 秋田銀行駐車場

▽内容 郷土の名物料理だまこもち、おけそば、それにうちわもち、みそつけタンポ、ビアガーデンなど。また、16日は「ミズかやき」の試食会も行われます。山菜コーナーもありますよ。

音楽・天翔太鼓上演

▽日時 16日 午前10時～

場所 下町通り

▽内容 町の伝統芸能・音楽、みごとなばさばきと迫力をみせる五城目天翔太鼓が登場、お祭りムードを盛り上げます。

※この他にも、山王社奉納相撲大会、交通安全映画大会、もちつき大会、子供天国、朝市歴史パネル展、五城目物産展など、いろいろな催し物が行われます。

会場図



15日、16日の両日、下町通りが歩行者天国となるため車の乗り入れはできません。また、バスは上町通り経由の運行となります。

町長の主な予定 (6月)

- 6月3日/長寿祝(門前・斉藤キヨノ様)/秋田県町村会臨時総会(秋田キヤッスルホテル)
- 6月4日/ふるさと五城目創生事業支援委員会(役場)
- 6月5日/平成3年度市町村長会議(県正庁)
- 6月6日/五城目高校教育振興会総会(グリーンロイヤル丸富)/国保運営協議会(役場)
- 6月7日/庁議(役場)
- 6月7日/三署親善野球大会(五一中グラウンド)/田町町内会町政座談会(田町会館)
- 6月8日/湖畔時報創刊40周年記念式典(八郎潟公民館)
- 6月9日/消防幹部会議(五城目町消防署)
- 6月10日/長寿祝(田町・松橋イト様)
- 6月12日/道路整備促進期成同盟会全国協議会総会全国大会(日本都市センター)
- 6月13日/県町村会建設委員会(秋田市・自治会館)
- 6月14日/庁議(役場)
- 6月15日/県民生児童委員協議会設立15周年記念大会(県立体育館)
- 6月16日/全町小学校野球大会(五小グラウンド)
- 6月17日/町政協力員会議(役場)
- 6月20日/中村町内会町政座談会(中村林業集会所)
- 6月21日/庁議(役場)
- 6月21日/交通安全研修会(役場)
- 6月22日/知事を囲む市町村長等懇談会(大森町休養センター)
- 6月23日/南秋若妻のつどい(広域体育館)
- 6月24日/教育行政懇談会(町民センター)
- 6月26日/五城目町結核予防婦人会総会(役場)
- 6月26日/全県社会教育主事研修会(赤倉山荘) 27日まで
- 6月27日/合地町内会町政座談会(合地林業集会所)
- 6月28日/部課長会議(役場)/農業近代化資金審査運営委員会(役場)/新規採用職員研修会(役場)



大名行列



番楽競演会



ボーイスカウト七福神



青年会踊山車

番楽・大名行列などにぎわう 本町部祭典

五月十五日・十六日、本町の祭典がにぎやかに行われました。
まず、十五日は宵宮恒例の番楽競演会が神明社神楽殿で開かれ、恋地・山内・西野・中村の各番楽保存会の皆さんが勇壮な舞を披露。観客からはさかんな拍手が送られていました。
翌十六日は、あいにくの雨模様の天気でしたが、大名行列、五城目青年会踊山車、ボーイスカウト秋田第三十団の子ども七福神が町内を練り歩き、お祭りムードを盛り上げました。

春の全国交通安全運動が、五月十一日から二十日までの十日間、「ゆとり持て、気持ち・スピード・車間距離」——県民総参加で交通事故を防止しよう——をスローガンに展開されました。
五城目町でも五月十一日午前七時、役場前で交通指導隊や交通安全協会などの皆さんによる出発式が行われ、町内をキャラバン隊がまわり交通安全を呼びかけました。
また、国道285号線の役場とリバーサイド磯ノ目の中間地点においても、ドライバーに交通安全祈願のお札の入

春の全国交通安全運動 “注意んガム”を配り呼びかけ

「しおり」や、安全運転をしようとうと「注意んガム」が配られ、交通安全を呼びかけていました。



役場前で行われた出発式



街頭では安全運転を呼びかけました



錦鯉を観察する
こどもたち

母校に錦鯉を寄贈

浅見内四区出身の工藤 洋さん



工藤 洋さん

浅見内四区出身の工藤洋さん（秋田市・住）が、五月九日、母校の内川小学校へ錦鯉十匹を寄贈してくれました。
工藤さんは現在、社団法人全日本愛鱗会秋田県支部長を務めており、母校の子どもたち

ちが池を利用して魚の観察をしたい、という話を聞き今回の寄贈となったものです。
寄贈された錦鯉は二十センチから三十センチくらいに成長したもので、黄金の鯉一匹のほか、時価数十万円もする高価な鯉も含まれているとのことでした。
「今回、貴重な錦鯉を寄贈していただき、工藤さんに大変感謝しています。魚の観察に大いに役立てたい」と学校では話していました。

本物の造り一筋 坂谷市右衛門商店

さわやかな香りの古法醸造法と深みのあるおだやかな香りの半煮半蒸法の二つの製法のうちから、お好みのタイプをお選び下さい。
新たに加えられた半煮半蒸法による製品は、秋田味噌業界でもトップレベルの技術力を誇る管久合資会社との技術提携によって製造されるものです。いずれも無添加・無漂白の製品ですので、健康に気遣う方にとっても安心にいただけるものと思います。

◆古法醸造味噌 昔づくり

◆秋田味噌（半煮半蒸） 心づくり

▶仕込味噌・味噌加工 受付中！◀

手づくりの味
自然の味
ふるさとの味

さか
り
市

秋田県五城目町字上町142 ☎ (0188) 52-2046

社会資本充実に簡易保険積立金

みなさんが加入している郵便局の簡易保険積立金は、加入者の生活保障だけでなく、公共施設の建設資金として、町に還元融資され地域社会の発展と住民福祉の向上のために大いに役立っています。平成二年度の対象事業と融資額は次のとおりです。

▼養護老人ホーム

建設事業

二億七九〇万円

▼大川下夕川原線道路

改良事業

一、八二〇万円

▼西野第一農道

整備事業

三、八七〇万円

▼公共下水道事業

(磯ノ目、大川地区)

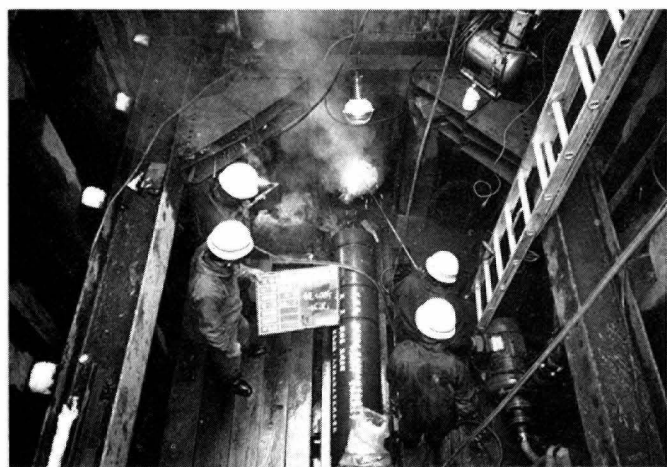
二、四一〇万円



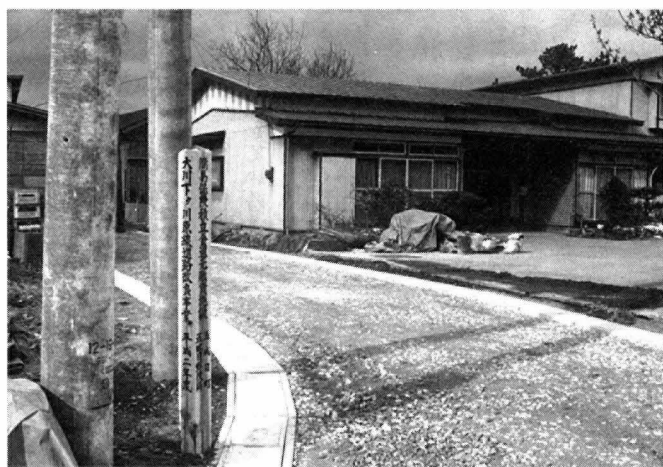
西野第一農道



養護老人ホーム



公共下水道



大川下夕川原線

簡易保険創業75周年記念 かんぽ資金まじづくり 写真コンクール 作品募集

簡易資金の融資でつくられた施設を題材にした写真を募集しています。

▼対象施設(主なもの)

恋地山荘、町民センター、生きがセンター、老人ホーム、矢場崎・広ヶ野公営住宅、大川小学校、雀館公園など

▼作品の大きさ

・一般の部

四ツ切またはキャビネ判

(カラー・白黒)

・小・中学生の部

キャビネ判以下

(カラー・白黒)

▼応募締め切り

七月三十一日(水)

▼申し込み・問い合わせ先

五城目郵便局 52-2220

ひよこちゃん



シャッターチャンス

環境整備最前線

四月二十六日、五城目高等学校全校生徒による「馬場目川クリーンアップ」が行われました。
今回は、生徒の皆さんからお寄せいただいた感想文をご紹介します。馬場目川のゴミ問題について、一緒に考えてみたいと思います。

馬場目川クリーンアップに参加して

一年C組 伊藤 知佳子(田町)



今年初めて馬場目川クリーンアップに参加しました。沢

山のゴミがあり、中でも発泡スチロールが多いことに気付きました。なぜ、このようなものが上流から流れてくるのか不思議です。

生まれてからずっと五城目町に住み、毎日、馬場目川を見てきました。ゴミがあることも気付いていました。しかし、そのゴミを拾おうとしたことも、拾ったこともありませんでしたので、私はよい経験をしたと思っています。そして、このような活動を今後も続けるべきだと思います。また、私たちだけでなく町の人々が一体となって盛り上げて行く必要があると思います。五城目町では、最近牛乳パックの再利用を行っています。ゴミが増加してきた現在、このような利用はいいことだと思います。そして限りある資源を保護するためにも続けてほしいです。また、私たちの学校でも同じようなことが出来ることに気付きました。それは、学校の自動販売機から出る空き缶の再利用です。一

つでも多く社会のためになることは良いことだと思います。国際的に環境問題について話し合われた会議でのスローガンに、「かけがえのない地球(only one earth)」とあるように、地球は私たちだけのものではありません。恒久的に豊かで平和な暮らしを維持していくためにも、私たちは努力しなければなりません。まず、「ゴミをゴミ箱に捨てる」という、身近なこと、社会の常識といえることを、一人ひとりが守っていく必要を強く感じました。

馬場目川クリーンアップで学んだこと

二年D組 斎藤 真弓(高田)



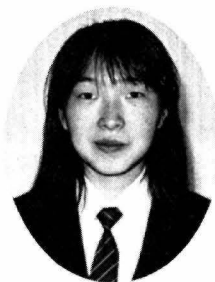
先日、五高の全校生徒と先

生方総勢六百人がかりで、二時間を費やして頑張りました。積極的な人ばかりとは言いがたかったのですが、大半の生徒が真面目にゴミを拾いました。町に住んでいる人々の生活の源となる馬場目川。それを掃除する私たちの姿を地域の人達はどうとらえてくださるのでしょうか。はたして、この私達の「一生懸命」を認めてもらえたでしょうか。あちらのゴミ、こちらのゴミと拾いながら考えました。去年も拾ったはずなのにこのゴミの多さ。なぜ、人がきれいにしたあとにゴミを捨てることのできるのでしょうか。これでは悲しすぎます。どうか町の皆さ

らに豊かで平和な暮らしを維持していくためにも、私たちは努力しなければなりません。まず、「ゴミをゴミ箱に捨てる」という、身近なこと、社会の常識といえることを、一人ひとりが守っていく必要を強く感じました。

クリーンアップを通して...

三年C組 館岡 るみ子(下高崎)



四月二十六日、予定通り馬場目川クリーンアップが行われました。

私は、西野橋から磯ノ目橋までを一年生が、磯ノ目橋から五城目橋までを二年生が、西野橋から下流に約三百メートルまでを三年生が、「郷土の環境の美化」と「勤労体験学習」を目的としてクリーンアップを行いました。

この日は、曇ってはいたけれど、雨がすぐにでも降るという感じではなく、気温もすずしく、クリーンアップにぴったりの気候でした。(ただ風が少し強かったと思います。)と言うわけで、クリーンアップが行われたわけですが、目的の地まで歩いて行くうちにも、川岸の所には空き缶やお菓子の袋などのゴミが目に入りました。

私は、食べ物などを買った場合(必ずと言っていいほど包装紙につつまれていたり、袋に入っています)、中身だけが必要とするため、袋などは無意識のうちに手からはなしてしまっていました。その結果が、川岸のゴミという事実に見つけられていると思います。こういうことを含めて、今回のクリーンアップでは私達が普段どれだけ無意識にゴミをすてているか、ということを知るよい機会になりました。

最後に、馬場目川は昔は魚の宝庫と言われるほどきれいな川だったそうです。その頃の川にもどすためにも、クリーンアップはこれからも続けていかなければならないと感じました。

慣れた手つきでつかみどり

— 馬場目小でウグイのつかみどり —



歓声をあげながら、つかみどりを楽しむ子どもたち

馬場目小学校恒例のウグイのつかみどりが、五月十四日午後二時から、平ノ下の中屋敷橋近くで行われました。

この行事は、子どもたちに自然にふれあい、地域を理解してもらおうと毎年行われているもので、当日は、PTAの皆さんによってバックホーや金網などを使い、いけずが作られ、馬場目川漁協のみなさんが捕まえた約千五百匹のウグイを放流。

学年ごとの三班に分かれた子どもたちは、ビニール袋を片手に持ち、慣れた手つきで二十センチくらいに成長したウグイを捕まえていました。

全国表彰を記念し、看板を設置

— 杉沢小学校緑の少年団 —



仙入橋園地に設置された看板と団員のみなさん

杉沢小学校では、昨年、同校の緑の少年団が全国表彰を受けたのを記念し看板を作製していましたが、このほど馬場目川上流の仙入橋園地に設置しました。

杉沢小学校緑の少年団は昨年十月、山梨県で開かれた全国育樹祭で、みどりの奨励賞、全国育樹祭大会会長賞、国土緑化推進機構理事賞を受賞するなど、その活動は全国的にも高く評価されています。

看板には「みんなで残そう 豊かな清流」と書かれており、現在中学生となった団員のみなさんは「町民のみなさんもこの看板を見て緑を大切にしてほしい」と話していました。

全県植樹祭で県知事賞

— 富津内小学校 —



受賞報告に訪れた富津内小のみなさん（5月17日、役場にて）

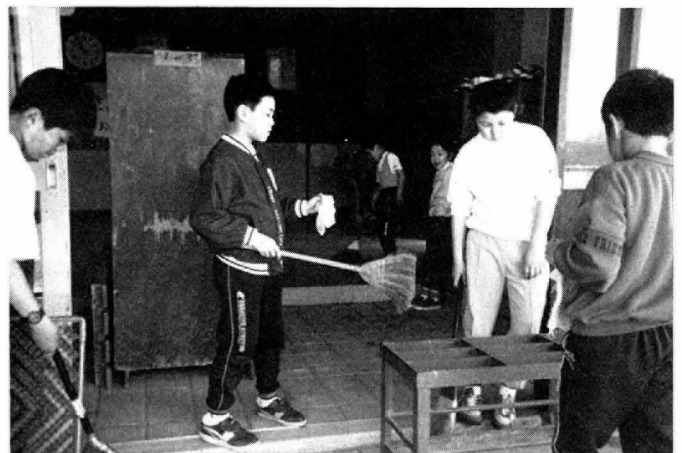
五月十五日、由利郡大内町で行われた全県植樹祭で、富津内小学校（北條孝造校長、生徒数三十六人）が、学校関係緑化コンクール学校環境緑化の部で県知事賞を受賞しました。

同校は校地が広く、庭園には花を植栽し、グラウンドや校庭の回りには木がたくさん植え付けられています。PTAの協力も得ながら、学校独自でも樹木や花を植栽し続けた長年の努力が認められ、今回の受賞となりました。

なお、五月二十六日、京都府宇治市で行われた全国植樹祭では、県代表として出場し入選を果たしました。

親子で下駄箱清掃

— 山ゆり学習会 —



下駄箱清掃をするみなさん

このほど、山ゆり学習会（代表・荒川純子さん）のお母さんや子どもたち三十六人が、五城目小学校の下駄箱清掃を行いました。

山ゆり学習会は、小学校入学の時に母さんたちが自主的に組織したもので、今年で六年目。町内施設めぐりや校長先生の話を聞く会、親子レクリエーションなどの計画を立て、いつも親子が一緒になって学んでいます。

下駄箱清掃も年間計画の一つで、ふだんお世話になっている学校に何かお返ししたい、との気持ちで続けています。みなさんは、ほうきやぞうきんを手にも、ていねいに清掃していました。

ふれあい広場

おらほの
自慢っこ

米沢町町内会

石川 徳郎



米沢町町内会で作成した横断幕

私の住む町内は、その昔五城目藤原内記秀盛が産業、経済を発展させるために「一座」を組織すると共に、「市」を設けたという線香座・市の一郭にある米沢町である。

七年前に地域住民待望の「よねざわ会館」が設けられた。建設費はみんなを出し合い、町内五十一世帯の人は気軽にいつでも集まれる所ができたので、いろいろな事業や行事をするうえで便利になり喜んでいいる。

会館利用については、町内会以外も含め年間二百回を数え、清掃は消毒班を輪番制で、庭園は老人クラブ担当で緑とさわやかな開花を見せて楽しめ合い、みんなが力を合わせ、自分達の共同責任で大事にとの考え方に徹している。そのおかげで、会館の運営も順調に経過している。

毎年、全世帯参加の祭典行事から年度が始まり、体育行事や下水清掃、除雪作業等の反省会の場として、また、納税組合共催の新年会なども行い、その話題の中から福祉のネットワークも生まれてきて、町内会の団結と楽しみが増えている。これからは、老若男女が一堂に会し、熟年者と幼少者が交流する場として、古い遊びや伝承行事を教えてもらえたらとも考えている。

このように、住民一人ひとりの連帯が実り、町内の事業や会館運営にもつながっていると確信している。

真に豊かな町は、心も健康でみんなが楽しく暮らせることが不可欠な条件であるように、わが町内は祭典の横断幕に掲げている「出会い、ふれあい」をモットーとしている。住民が一つの糸で固い絆を結び気持ちを貫いていくことを一番大切に行っている米沢町内会でもある。

一番町の長谷川 豊さん

藍綬褒章を受章

長年、行政相談委員として 谷川豊さん（六十四歳）に藍綬褒章（内閣総理大臣表彰）が贈られました。平成三年春の褒章伝達式は、

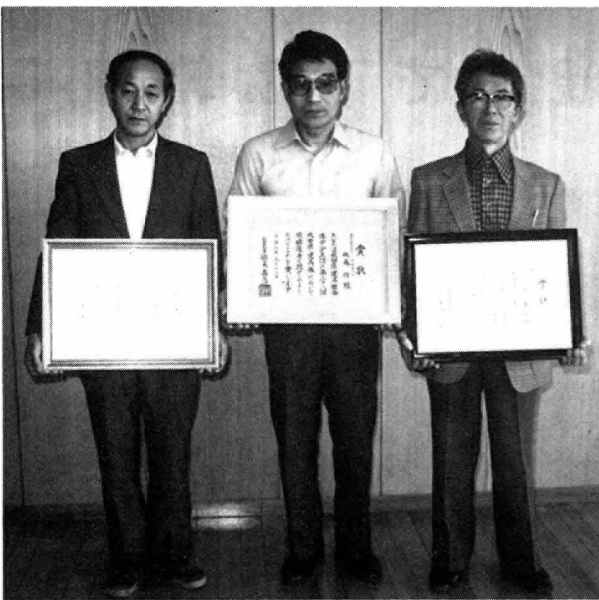


役場へ受章報告に訪れた長谷川さん

本町から三作品が入賞

第22回秋田県建具展

五月十六日から十八日まで、れた「第二十二回秋田県建具展」において、川原町の佐藤



受賞を喜ぶみなさん
(右から、小川さん、佐藤さん、小玉さん)

五月二十日午前十時三十五分から、東京都にある中央合同庁舎で行われ、総務庁長官から行政相談委員の十五人をはじめ、四十八人の方々に藍綬褒章が伝達されました。また、伝達式終了後に行われた祝賀会では、受章者を代表し長谷川さんがあいさつをしました。長谷川さんは、昭和四十四年四月、行政相談委員に委嘱されて以来、連続十一期（二十二年）同委員を務めているベテランの方で、昭和六十年十月には総務庁長官表彰も受賞しています。

建具店（佐藤信さん）が秋田県知事賞を、田町の小玉建具店（小玉美代さん）が河北新報社賞を、また、中川原の小川木工所（小川秀雄さん）が日本経済新聞社賞を受賞しました。

佐藤建具店の作品は「書院障子」。デザインにかなり苦労されたそうで、星空をイメージし、秋田杉を主体とした作品です。小玉建具店の作品は「和洋障子」で、骨の隅をアールにして柔らかさを出し和室にも洋室にも合うのが特徴です。小川木工所の作品は「夏障子」。涼しさと心のやすらぎをイメージし、上部にはすす竹、下部には秋田天然杉のまさ板で千鳥に波を入れています。

この三作品は、今月十四日から埼玉県上尾市で開かれる全国建具店に出品されることになっています。

五一中は 3 位

全県中学校招待野球



五一中野球場で行われた
全県中学校招待野球五城目大会

▽第一試合	勝平	4-2	船川
▽第二試合	尾去沢	5-2	五城目一
▽三位決定戦	五城目一	5-0	船川
▽決勝	勝平	4-2	尾去沢

第十回全県中学校招待野球五城目大会は、五月十八日、五城目第一中学校野球場を会場に、四チームが参加し熱戦を繰り広げました。
五城目第一中学校は健闘したものの、三位にとどまりました。
成績は次のとおり。

本町チビレス大活躍

北日本少年レスリング
選手権大会



大活躍した五城目チビッコレスリング
クラブの子どもたち

五月三日・四日の両日、福島県郡山市総合体育館で行われた、第八回北日本少年レスリング選手権大会には三百三十人のチビッコレスラーが参加。この中で、五城目チビッコレスリングクラブの子どもたちが四階級で優勝するなど大活躍しました。成績は次のとおりです。
(敬称略)

△優勝▽ ▽男子小学1・2年 22 K級	▽女子小学5・6年 28 K級 近野ひろみ(五小5年・岡本)	△三位▽ ▽男子小学3・4年 28 K級 近野卓矢(五小4年・岡本)	▽男子小学5・6年 41 K級 藤井洋輔(五小6年・新里町)	▽同 50 K級 佐々木聡(馬小6年 蓬内台)	▽男子小学5・6年 41 K級 藤井洋輔(五小6年・新里町)
-------------------------	-----------------------------------	--	-----------------------------------	-------------------------------	-----------------------------------

全県ゲートボール大会

90チームが熱戦を展開



熱戦が展開された全県ゲートボール大会

第十一回秋田県春季ゲートボール五城目大会が、五月一日、雀館運動公園運動広場を会場に、全県から各町村の予選を勝ち抜いた九十チームが参加して熱戦が展開されました。
優勝は小坂さつきチーム、準優勝は横手清風チームでした。また、最高齢者に贈られる寿賞は、八郎潟町寿山Bチーム・石井清之助さん(八十九歳)が受賞しました。

五城目町からは六チームが出場しましたが、昨年優勝の暁チームは惜しくも予選を通過することができませんでした。唯一予選を通過した五城目球進会は、準々決勝で優勝した小坂さつきチームと対戦し13対10で惜敗、ベスト8となっています。

馬川地区 住民体育祭を開催

▽日時 6月16日(日)
午前9時30分
▽場所 馬川地区公民館グラウンド
※雨天の場合は同体育館で行います。

暮らしの ワンポイント

ゆで卵の殻をむくにはコツがあります。卵がゆで上ったら、なべのふたをずらしてお湯を捨てます。次に、ふたをしたままなべを卵の殻に細かいヒビが入るくらい強く揺すり、水を入れると簡単に殻がむけるようになります。
ゆでる時間は、普通のゆで卵で十一分程度。ゆで過ぎると卵黄の表面が黒ずみます。
目玉焼きの焼き方のコツは、熱したフライパンに油をひいて卵を割って入れ、一分ほど中央で焼きます。そこで、水を大さじ一杯ほど入れてふたをし、三秒程度強火で焼いて火を消し、一分間そのままにしておきます。水を入れることで、白身の焦げつきのが防げます。
また、卵の白身には漂白作用があります。殻を細かく砕いて小さな木綿の袋に入れ、袋の口を縛ります。殻についている白身を利用するわけです。これを使って、急須や茶碗の茶しぶをとるときれいに落ち、便利です。

シグナル胃腸薬「顆粒」錠剤



- ①現代人の食生活(高脂肪食傾向)にピッタリフィット!
- ②荒れて弱ってしまった胃粘膜を保護・修復する成分配合。
- ③胃腸の働きを整える8種類の健胃生薬が効果的。
- ④17種の薬効成分をバランスよく配合。

……とこんな効果をもつ「胃腸薬」です

五城目 中央薬局

下町朝市通り ☎52-3217



御贈答品に

寛文五年堂

いよいよ手繰うどん

を御利用下さい。

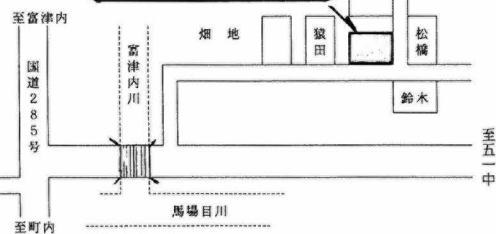
酒専門店

タカツ

五城目町中央通り Ⅱ52-2262
フリーダイヤル 0120(15)2262

希望ヶ丘町営住宅入居者募集 申し込みは6月20日まで!

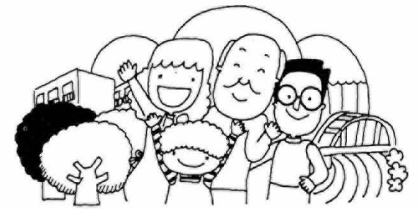
◎ 希望ヶ丘町営住宅



- 【募集内容】
- ▽場所 五城目町富津内下山内字奈良崎19-5
 - ▽募集戸数 木造平屋建1戸 (16・1坪) 和室6帖3室
 - 台所・風呂場
 - ▽家賃月額 1万5千円
 - ▽募集期間 6月1日～20日
 - ▽入居予定日 7月1日(月)
 - ▽入居資格
 - (一)収入基準はなし
 - (二)同居または同居しようとする配偶者、扶養家族がいる
 - (三)ただし(二)に該当しない場合でも特例がある。
- ア町の施策推進に貢献する

と認められる者
イ家屋の改築による一時入居(三カ月以上)の場合
ウ災害により住宅を移転しなければならぬ時
エ公共事業等により住宅を移転しなければならぬ時
四保証人が二人必要
(入居手続き)
申し込み用紙は建設課にあります。添付書類として、入居希望者全員の住民票の写しと、入居希望者のうち収入のある人と保証人の源泉徴収票または所得証明書が必要。
※問い合わせ・申し込み先
役場建設課 52-2100

お知らせコーナー



麻しん(はしか)予防接種

麻しん予防接種を個別接種方式で実施します。

▽対象者

平成元年6月1日～2年5月31日までの出生者

▽接種日時

6月10日～28日まで診療日の午前中に行います。(平成

英会話教室 受講生を募集

中央公民館では、英会話教室の受講者を募集しています。英語を身近なものにし、外人講師から直接英会話を習得できる絶好の機会ですので、あなたもチャレンジしてみませんか。

▽日時

3年5月20日・21日に小児マヒ予防生ワクチンを受けの方は、6月20日以降に受けるようにしてください。

▽接種協力医療機関
畑沢医院、笹尾医院、川崎医院

▽持参するもの
・母子手帳
・問診票
・接種料金1、280円

▽問い合わせ先
役場保健衛生課
52-2100

6月11日(火)より毎火曜日 7時～8時 各1時間

▽会場
町民センター

▽指導者
五城目町教育委員会英語指導手 アンドレア・アレキサンダーさん
・通訳 島山延子さん

▽対象
一般町民初心者

▽募集人員
先着30名で締め切ります

▽申し込み方法
6月10日(月)までに、五城目町中央公民館(52-4415)へ申し込み下さい

▽主な内容
①日常の基本的あいさつ
②簡単な情報交換
③よく使われる修飾語
④買い物物の場面
⑤交通

国保加入者の健康づくりに 人間ドック

町では平成三年度より国保加入者の健康づくりのため、人間ドック(総合的健康診断)を次のように実施しております。

一、受診(補助金交付)の対象者について

- ①五城目町国民健康保険の被保険者で、40歳以上70歳未満の方
- ②前年度までの国保税完納世帯
- 二、コースと料金
- ①外来(1日) コース 約3万円
- ②入院(1泊2日) コース 約6万円

三、補助金の交付について
①費用額(人間ドックに要した費用で消費税を除く)の半額補助
補助を受けようとする方は受診申込み(申込書は保健衛生課にあります)をして、人間ドックを実施している医療機関で診断後、料金受領書を

少年の日 標語

良い子には
よい本よい話
よいテレビ

県税についての お知らせ

今年の自動車税の納期限は七月一日です。最寄りの金融機関で、忘れずに納付して下さい。

なお、四月一日現在の自動車の保有者で、まだ納税通知書が届いていない方は、秋田県税事務所納税課(560-3332)にご連絡下さい。

求人情報

◎募集先

秋田末広繊維株式会社(上山内) 52-4151

- ・従業員 若干名
- ・年齢 18歳～45歳位まで
- ・随時受け付けしておりますので、履歴書持参の上ご来社ください。詳しい内容については面談の席上にて。

善意

▽馬場目小学校に寄贈

・4月30日
せっけん 約120個

▽役場住民課へ寄贈
・5月8日
歩行訓練機 1台

町村 小玉善作

貴女のお店が生まれかわりました。 新装オープン 6月1日(土)～

《新設コーナー》

- ・エステティックコーナー(美しく若々しい素肌への憧れ…)
- ・脱毛コーナー(肌がファッションになる季節)
- ・カバンコーナー(ビエールパルマンブランドetc)



Happy House(おしゃれの店)
あらかわ 五城目町下町80(朝市通り)
52-3900



「ボーナス」は 「しんきん」がいいみたい

まごころかよう



五城目信用金庫 本店

☎ 0188-52-2115(代)

石井三友 (下)

小野 一 二



「芭蕉句碑」
三友や月斎らが建てたもので、
側面には二人の句も刻まれている

醒者塵筐・秋田繁昌記の一
部は私の翻刻によって新秋田
叢書(歴史図書社刊)の一卷とな
った。幕末から明治にかけて
の地方農村の記録的随筆とし
て評価されたからである。
二十歳から八十歳まで好奇
心と向学心を燃やし続けて、
ぼう大な著作を書きあげた三
友は、「生涯学習」の先駆者
といふべきかも知れない。
三友は俳句も達者で熱心に
句作し、多くの句を残してい
るが、俳句を始めたのはいつ
なのか彼の記録にもない。当
時は地方の識字層は厚く、文
化レベルは意外に高かった。
村役人クラスでは俳句や和歌
をたしなむのは一つの教養と
なっていた。彼はあちこちの
句会に熱心に出席し、いつの
間にか師匠格となった。
彼の文芸趣味は人との交流
を広くする。繁昌記には月休
渡辺彦太郎、貞直石川理紀之
助とのつきあいについて書い
てある。月斎大石孫右衛門と
の交友は一冊の著書となっ
ている。

不明の事項があ
ると彼は久保田の
藩校に日帰り出
かけていった。藩
校は藩士の学校で
あるが、熱心さに
負けて三友の問い
に答えてくれるよ
うになった。随筆
集に醒者塵筐の名

を与えた教授青木漢斎(???)
八咫を、彼は最も敬愛してい
る。俳句は保戸野に住む秋山
御風(五五〇一八六)の教えをうけ
ていたらしい。ここで阿仁の
宗匠庄司吟風と知りあったと
も想像できる。
黒土村は十六軒、高八十石
余の寒村で、肝煎を勤める程
の家柄とはいっても経済面は
知れたもの。学問だ句会だ
という主人の生活は家計を圧迫
する。だから自家製の紙に反
故紙を貼り合わせて色を塗っ
た表紙をつけ、自分で製本す
るといふ著書に彼の儉約の様
子がうかがわれる。
天保十二年(一八四一)待望の伊
勢参りに出かけるが、青木先
生の世話で藩役人のお供で江
戸まで給金を貰って旅をする
という方法だった。伊勢神宮
に至る所で養銭をとる仕組みに
なっている不満を書いている。
七歳で版木にした「飽食
大酒を禁じ色欲を遠ざけ血氣
を養えば、自ら寿を得べし」
という彼の養生訓が残ってい
る。内川村発足の次年に当る
明治二年(一八六九)十一月二十
日八二歳で死去したが、最後
の著書『山寿帳』は未完のま
まとなった。
醒者塵筐、秋田繁昌記は町
指定文化財となっているが、
外に『凶年考』『古人物語』
『老の笑い残』などや数冊の
句集がある。
(次回は「大石孫右衛門」)

献血推進協議会総会

会長に佐藤町長

平成三年度五城目町献血推
進協議会の総会が、五月二十
三日、役場で開かれました。
総会では、はじめに委員の
方々に委嘱状が交付され、続
いて、銀色有功章伝達四名、
優良献血表彰十七名、計二十
名の伝達・表彰式が行われま
した。

この後、議案の審議に入り、
平成二年度の事業・決算の報
告、また、平成三年度の事業
計画・予算を承認。引き続き
役員の改選が行われました。
新役員・表彰者は次のとお
り。(敬称略)

顧問 塩沢雄蔵 斎藤喜市

会長 田村 宏 太田文博

副会長 佐藤邦夫 詩田光郎

委員 伊藤準一郎 越高孝雄

石川 祐 伊藤富司

佐藤 幸 門間郁子

監事 笹尾 知 大山清吉

◆有功章表彰者

加賀谷龍悦 越高直人 伊藤

徳雄 大石定祐

◆優良献血表彰者

鈴木新一郎 八柳一義 伊藤

孝之 伊藤敏和 佐藤幸枝

小玉一男 長沢厚 川上哲也

渡部幹子 石川祐 三浦勝敏

金野政志 松田光治 伊藤聡
一ノ関照美 久保市浩 佐々
木博行



善意銀行
預託者
(敬称略)

・4月15日

5万円 雀館 勝田重信
(亡父勝太郎様の香典返し
として)

・4月16日

3万円 黒土 石井春美
(亡父連吉様の香典返しと
して)

・4月18日

3万円 新畑町 菅原源一
(亡母モモヨ様の香典返し
として)

・4月19日

3万円 埼玉県戸田市(紀
久栄町出身) 伊藤美幸
(亡母テツ様の香典返しと
して)

・5月7日

2万円 大川二区 八柳藤八
(亡母キクノ様の香典返し
として)

・5月7日

5万円 仲町 鍋谷徳次郎
(亡母ミヤ様の香典返しと
して)

・5月8日

2万円 今町 佐々木元子
(亡父徹様の香典返しとし
て)

・5月9日

6万円 今町 藤本正善
(亡妻節子様の香典返しと
して)

・5月15日

3万円 畑町 栗山弥一郎
(亡母カネヨ様の香典返し
として)

カラー
プリント **30分** 仕上げ
イトウカメラ
伊藤写真館
新畑町(ガーデン松竹向い) ☎52-3667

五城目
お菓子の
しげ
天和太鼓
五城目
新発売

最新システムグローワックス
愛車はいつも綺麗がいい!
洗車会員募集 ●ワックス掛の他、当店では
車内清掃も行っています。
きれいだ好きの
面倒くさがり屋さん
集まって下さい。
湖東商事
五城目町大川国道7号線添い
☎75-3550・4317
〈F1ポスタープレゼント中!〉

6月町民カレンダー

1日
20日

おたんじょう
おめでとーございます

(敬称略)



伊藤 美帆 ちゃん
3年4月3日生

「おかあさんの一言」
心身ともに
すこやかに育ってほしい

おめでとう 申し上げます

(敬称略)

宮城三郎	66歳	4月1日	大宮カツミ	78歳	4月17日	今町	松橋フツノ	82歳	4月30日	浅見内
栗山時治	87歳	4月1日	島山徳太郎	82歳	4月18日	浦横町	湯ノ又			
沢田石ナカ	87歳	4月2日	小林力之助	77歳	4月18日	古川町	高千			
鍋谷ミヤ	70歳	4月9日	佐藤勇太郎	74歳	4月20日	谷地中	上樋口(下)			
佐々木武雄	70歳	4月10日	猿田シヤウ	91歳	4月21日	4月21日	一番町			
一関ミヨ	88歳	4月16日	柳原アイ	84歳	4月21日	4月21日	一番町			

町の人口と世帯

5月1日現在

人口	14,491人	(-23)
(男)	6,872人	(-15)
(女)	7,619人	(-8)
世帯	3,944世帯	(0)

※()内は前月との比較

歯の衛生週間

歯垢や歯石を取り除く
毎日の正しいブラッシングを!



テレホン広報ごじょうめ
020-4141

	月	火	水	木	金	土	日
5/27 ～6/2	暮らしのワンポイント 卵ア・ラ・カル・ト			英 会 話 レ ッ ス ン (Lesson 4)			
3 ～ 9	歯 の 衛 生 週 間 (歯 ぐ き の 健 康 づ く り)						
10 ～ 16	古くて新しい 森 林 浴			空 き 缶 の リ サ イ ク ル			

テレホン広報
ごじょうめ
ご案内